

「全鍍連」 2022年 9月号 巻頭言

全鍍連 経営副委員長 岡 正典 (株)三鷹金属化工所 代表取締役)

「変化の波に乗るか乗らないか」



生活や仕事の環境が急激に変化していると昨今よく言われます。人は変わらなければいけない、変化を恐れるな、変化なくして成長なし、このような言葉も非常によく耳にします。

変化をしないことは悪（あく）という意見ですが、必ずしも変化によっていいことばかりが起こるわけではなく、変えることによって良いことと悪いことの両方が起こります。人間はもともと変化を嫌う本能があり、変えないことによって安心感を得て、変えることによって大きなストレスを感じます。これを自分で制御できない人が変化を強要されるとうつ病になります。これはとてもデリケートな部分ですのであまりさわりませんが、この病に悩んでいる人は近年ますます増えており、当業界でも非常によく話題になってしまいました。コロナや隣国の戦争で否が応でも望まない変化を強制されていることが要因のひとつとなっているようですが、そのような大きな要因でなくても、就職や転職、異動、家族のこと、病気のことなどなど、人生で必ず訪れる転機が何度もあるので、少しでもその時の心構えをしておかなければならないのではないかと感じます。

先の参院選での自民党圧勝。これは国民の多くが、生活は苦しくても変化はしたくない、変化するのは怖い、ということを表した結果でありました。変化することで今まで見えなかったものが見えたり、新しい出会いがあったり、たくさんの良いことがあるかもしれませんが、やみくもに変えてもかえって苦しむだけ。しっかり準備したうえで、自分達の人生をいい方へ変えていければと思います。

変化して悪くなったのがコミュニケーションの道具、スマホです。電話が携帯へ、携帯がスマホへ変化したことにより、子供達の能力はますます衰えていっているように感じます。私には中1と小5の娘がおりますが、その当時の自分と比べたとき、今の子は肌で感じられていない感覚的なことがたくさんあります。時間の感覚、気温や季節の感覚、他人の気持ちを汲み取る感覚等々。これはスマホが原因だと確信していますので、我が家では13歳まではスマホを与えず、使用時間も1日30分というルールにしているのですが、すでに目も悪くなっているし、姿勢も、成績も、いいこと無し。さらには新学年になって学校の変化がありました。学校公式のipadを買わされたのです。小学生と中学生にそれぞれ一人1台ずつ。それで授業をして宿題をだされるので、常に持ち歩くようになってしまいました。これにはまったく反対なのですが。

「彼らはクレージーと言われるが 私は天才だと思う 自分が世界を変えられると本気で信じる人達こそが本当に世界を変えているのだから」 ipad を作ったスティーブ・ジョブズという言葉。ですが、ジョブズは自分の子供には決して ipad をさわらせなかったという。バカになることを知っていたから。

おわりに、コロナがはやく収束してまた皆様と直接お会いできるようになることを楽しみにしております。